

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院および昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

日本人でのステント血栓症原因精査

1. 研究の対象および研究対象期間

ステント血栓症で光干渉断層装置を用いて行なったカテーテル治療症例
2016年1月-2022年5月

2. 研究目的・方法

日本人のステント血栓症の原因をカテーテル治療時に用いた光干渉断層装置の画像を用いて精査します。ステント血栓症とは冠動脈ステントに血栓が生じてしまい、狭心症や心筋梗塞に至ってしまう病態です。ほとんどの方には起きませんが、起きてしまうと心臓には大きな負担となってしまう恐れがあります。ステント血栓症の原因の多くは抗血小板薬の怠薬やステントの圧着不十分が多いですが、慢性期にはステント内の新たな動脈硬化が起きます。日本では丁寧な手技が行われており圧着不十分な症例は少ないと思われませんが、どういった原因が多いかのデータが存在しません。またステント内の新たな動脈硬化で血栓症に至るものは、プラークの破綻だけなのか、びらんがあるかもまだはっきりしません。日本人でのステント血栓症の原因を明らかにすることは、今後の狭心症、心筋梗塞の治療法を改善させる大きな助けになります。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究棟に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）、臨床検査項目（カテーテル、光干渉断層装置、血液、生化学、X線、心電図、心臓超音波検査）を調査項目とします。

4. 外部への試料・情報の提供

得られた診療情報、対応表および解析結果は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。

情報は個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除されており、プライバシーには最大限配慮します。

5. 研究組織

研究責任者：

藤が丘病院循環器内科 森 敬善

分担研究者：

藤が丘病院循環器内科 手塚 隆弘

藤が丘病院循環器内科 大村 歩

藤が丘病院循環器内科 関本 輝雄

医学部循環器内科 佐藤 俊弥

医学部循環器内科 新井 帝東

医学部循環器内科 酒井 陸朗

医学部循環器内科 新家 俊朗

藤が丘病院循環器内科 鈴木 洋

個人情報管理責任者：

藤が丘病院循環器内科 小貫 龍也

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 循環器内科

氏名：森 敬善

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-3 0 電話番号：045-971-1151

研究責任者及び代表者：森 敬善